



がん患者同士の出会いと情報共有のコミュニティ
SNS運営スポンサーのお願い

株式会社PEER スピーク事業部
<https://speak-sns.net>



がん患者さんの孤独と支援の格差を解消する3つの事業

日常生活の
情報が知りたい



よくある質問を読もう
ライフハックメディア

15,000件以上のインタビューからよくある質問をまとめ、ガイドラインに基づいた情報提供をしています。

体験者に
出会えない



仲間に出会う
匿名SNS

1年間にがんを体験する人は人口の1%未満。同じがんを同じ時期に体験する人に出会うなら、集まる場所が必要です。

ほしいサービスが
見つからない



患者の声を集める
BIG DATAの活用

がん患者さんがほしいことや知りたいことは、もっとあります。がん患者さんの声が集まればサービスの開発が変わります



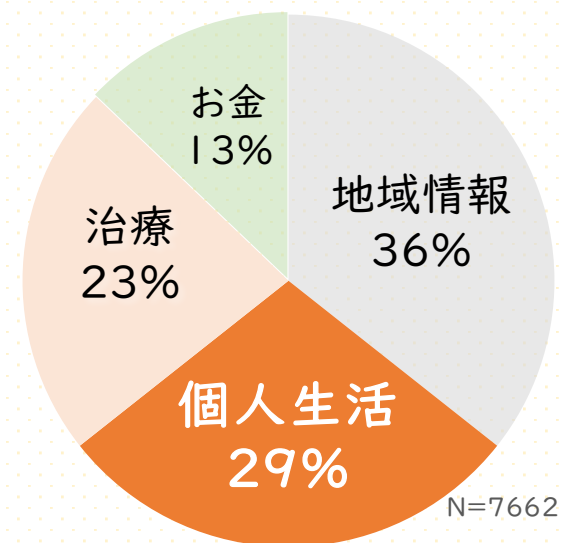
がんと暮らす自分の生活は、どこにも答えがない。

がん患者さんの知りたいこと

生活は、個人差が大きく、答えがない



病院での相談内容



スピークは、「その人らしい人生をつづけること」を応援するコミュニティです

病院のがん患者向け説明ツール“Speakコラム”

Speakコラムは、患者さんの暮らしに必要な情報を提供するメディアです。医療者が指導に活用することを想定し、国立がん研究センターとMindsに基づき設計されています。



がん情報サービス

ganjoho.jp

厚生労働省委託事業 公益財団法人日本医療機能評価機構

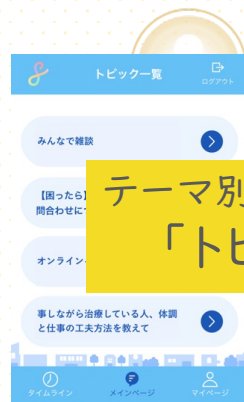
Minds ガイドラインライブラリ



がん患者向け説明ツール“Speakコラム”
ガイドラインなど、根拠に基づいたリアルな情報



がん患者さん同士が話せる場所“Speak-SNS”



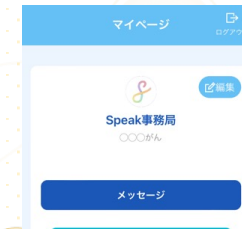
テーマ別に話し合う
「トピック」



気軽に投稿できる
「タイムライン」



ニックネームで
アカウント登録



自分向けの情報が届く
「マイページ」



プライベートなやり取り
「個別チャット」



<https://speak-sns.net>



DBJ 日本政策投資銀行グループ
ANA 全日本空輸株式会社
事業国構築補助金

既存のがん患者情報交換ツールとの比較

	Speak	限定公開グループ Facebook	闘病アカウント Twitter	がん友人つながり LINEグループ	一般公開 掲示板
書き込む	○	○	○	○	○
見るだけ参加	○	○	○	○	○
タイムライン上に回答する・ 受け取る	○	○	○	○	○
個別メッセージ	○	△	△	△	—
根拠ある個人向け情報	○	—	—	—	—
事前登録	○	○	○	○	—
メリット	漠然とした不安も含めた「個人的な問題」を相談できる。コミュニティを管理する専門家を配置。	好意的で丁寧な回答が多い。不適切発言などは管理人が介入し退会させる等コミュニティ管理がされている。励まし。	短く感情を表現できて手軽。緩やかなコミュニティが形成されていて、励まし合う。自分の感情を吐き出すことができる。	患者会など実際につながりから発生していて地域性がある。	申込不要ですべての人が匿名で書き込みが可能。過去の情報も検索可能。
デメリット	スタートしたばかりでユーザー数が少ない。	ボランティア運営で1グループ50人くらいが限界。患者体験者などが始めるが、会員数が伸びてくると管理が難しくなる。	闘病アカウントの弱音が暗く、辛くなるの人もいる。亡くなると追悼アカウントになるなど、友人の死や暗い感情も目にすることになる。	実際の個人が特定されているので、話しにくい内容がある。タイムラインが流れてしまい情報交換が難しい。退会しにくい。運営からの一方的な情報提供になりがち。	なりすましや根拠のない会話。



Speakは「つながり」が生み出す支援を提供



【がん患者の抱える課題】

必要なタイミングで必要な情報やサービスに出会うことができない。
理解される相談相手に出会えない。

【現状のサービスや情報】

課題を解決する情報やサービスは市場に提供されている。
当事者のニーズにマッチするかどうかのコーディネートが困難。

【本事業Speakの特徴】

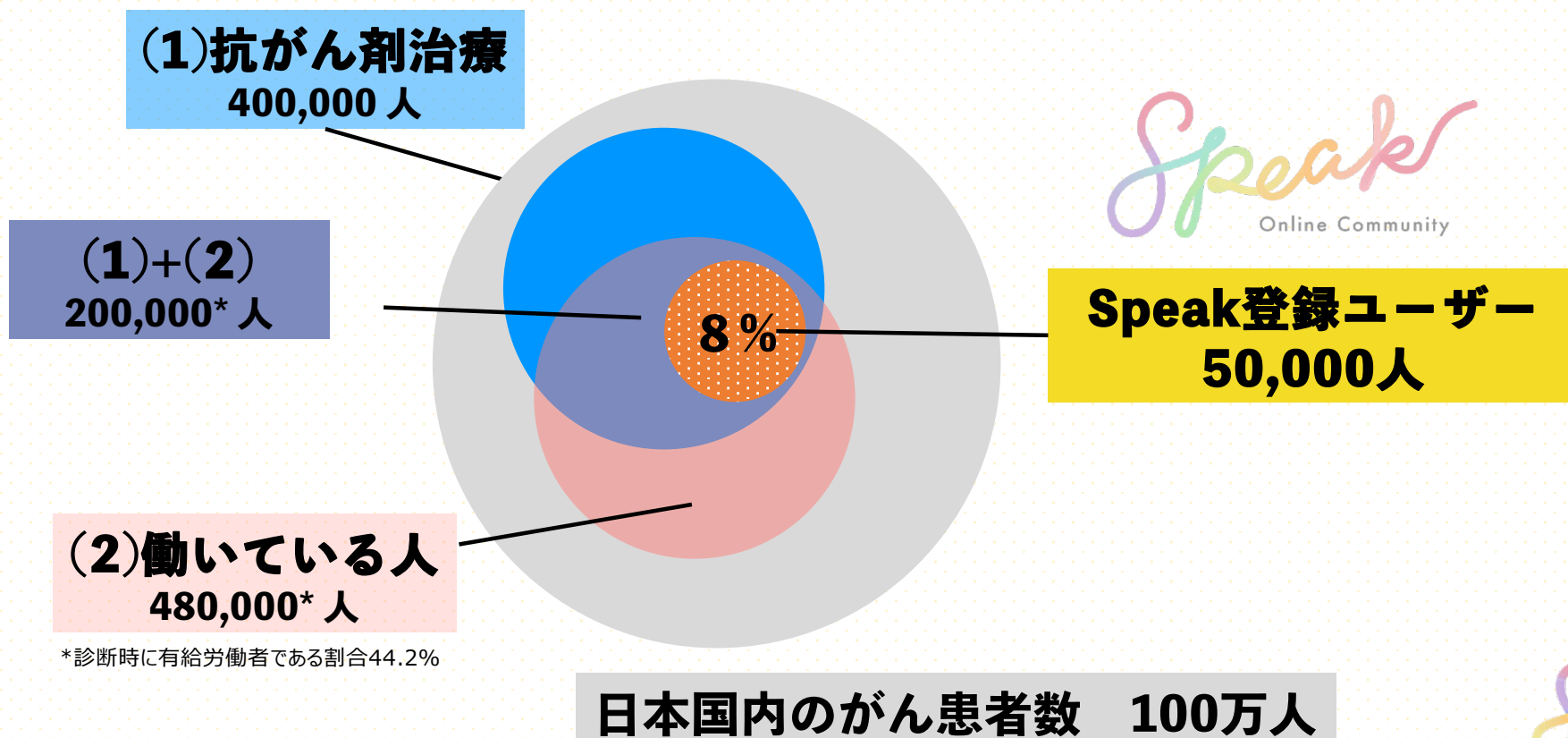
がん患者の基礎情報や興味関心に合わせた情報提供が可能。
同じような悩みを抱える人たちや専門家との匿名のコミュニティを提供。
情報やサービスをがん患者本人のタイミングに合わせて提供可能。

Speakは、がん患者さんへの情報接点を提供

がん患者の必要とする支援は、医療と生活の2面がある。がんと就労、がん患者の社会進出は、生活上の悩みも多い。
その人らしい生活を継続するために、医療情報と同時に、治療生活や健康維持に関する支援のニーズは高い。



想定ユーザー数



*診断時に有給労働者である割合44.2%

チームメンバー

リーダー



佐藤真琴
看護師／事業開発
ME (MOT)

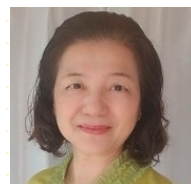
がん医療専門家



小泉圭
医師
Ph.D



宮本康敬
薬剤師
Phar.D



番匠千恵子
看護師
DNSc

病院・製薬



堀川浩
製薬メーカー
Ph.D

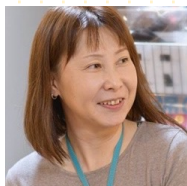


相馬陽胤
アドバイザー
麻生グループ

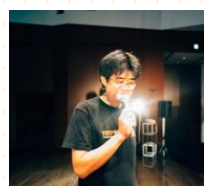
コミュニティ



岸田徹
AYA当事者
NPO代表



柴田美紀
サバイバー
PEER店長



河口哲也
チームビルディング
TEDxH

協力医療機関



北九州市立 医療センター
Kitakyushu Municipal Medical Center



浜松医科大学医学部附属病院
HAMAMATSU UNIVERSITY HOSPITAL



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院
SEIREI HAMAMATSU GENERAL HOSPITAL



ASO
IIZUKA
HOSPITAL
innovate and evolve



未来の姿：がん患者のニーズを代弁するブランドへ

必要な情報とつながりをすべてのがん患者に届ける手段Speakを構築し、生まれや所属、地域による支援の格差なくすべての人ががん支援を使える未来へ

新しい支援を生み出す



サービス提供



情報提供

Speakのミッション

- ① 患者の役に立つこと
- ② 患者のリアルデータをまとめて、提案として提供すること
- ③ 情報とつながりで、患者中心の医療に貢献すること





スポンサー料金

<p><u>パートナー（法人）</u> 年額30万円 協賛企業ページへのロゴ（大） がん患者向け情報提供の支援 社内がん教育プログラムの特別割引 年1回、報告会へのご招待</p>	<p><u>サポーター（法人）</u> 年額10万円 協賛企業ページへのロゴ（中） 社内がん教育プログラムの特別割引 年1回、報告会へのご招待</p>	<p>年額5万円 協賛企業ページへのロゴ（小） 社内がん教育プログラムの特別割引 年1回、報告会へのご招待</p>	<p><u>個人サポーター</u> 年額1万円 協賛ページへのお名前表示 （表示希望の場合） 年1回、報告会へのご招待</p>
---	---	---	---

2023年度の寄付金は、以下の目的に使用する予定です。

目的	金額（円）	詳細
SpeakSNSの開発とPRツール制作	4,120,000	第7回事業再構築補助金を活用してSNSを構築しています。補助率3/4のため、自己負担となる1/4にあたる412万円に活用します。
合計	4,120,000	

会計の管理は、以下のように行います。

会計の公開	寄附者には年1回の報告書を提出
寄付の証明	振込時に銀行が発行する振込証明書類
体制	年1回、外部監査役による監査を実施
会計管理	神村会計事務所
外部監査	浅沼総合会計事務所
会計事務	佐藤真琴、河口哲也

ご寄付のプロセスは、以下のとおりです。

寄付内容を選択	寄付金額をお決めください
寄付者登録	寄付者についての登録をお願いします。
入金のお願	事務局よりお振込先をご連絡します。
証明書の発行	寄附受領証明書をお届けします。

寄付者登録URL



<https://onl.tw/5CubrbS>

振込先口座

PayPay銀行（0033）
すずめ支店（002）
普通5863610 カ）ピア

